

## 第12章 地域生活拠点の検討

### 12.1 地域生活拠点の基本的な考え方

本市の市街化調整区域や都市計画区域外の農村地や中山間地等には集落地が分布し、子育て支援施設や介護・福祉施設、教育・文化施設等、日常生活に必要な都市機能施設が立地しています。このような地域において、将来的な人口減少・少子高齢化の進展により、日常生活に必要な様々なサービスを維持することが困難となり、生活の維持に必要な機能が低下していくことが想定されます。

このような状況においても、各地域における日常生活の利便性を確保するため、各地域の中心となる地域生活拠点において、既存の生活サービス機能の維持を図ります。

また、地域生活拠点において不足している機能については、都市機能が集積する中心拠点やそのほかの地域生活拠点へアクセスできるよう、実情に応じた公共交通ネットワークの維持を図ります。

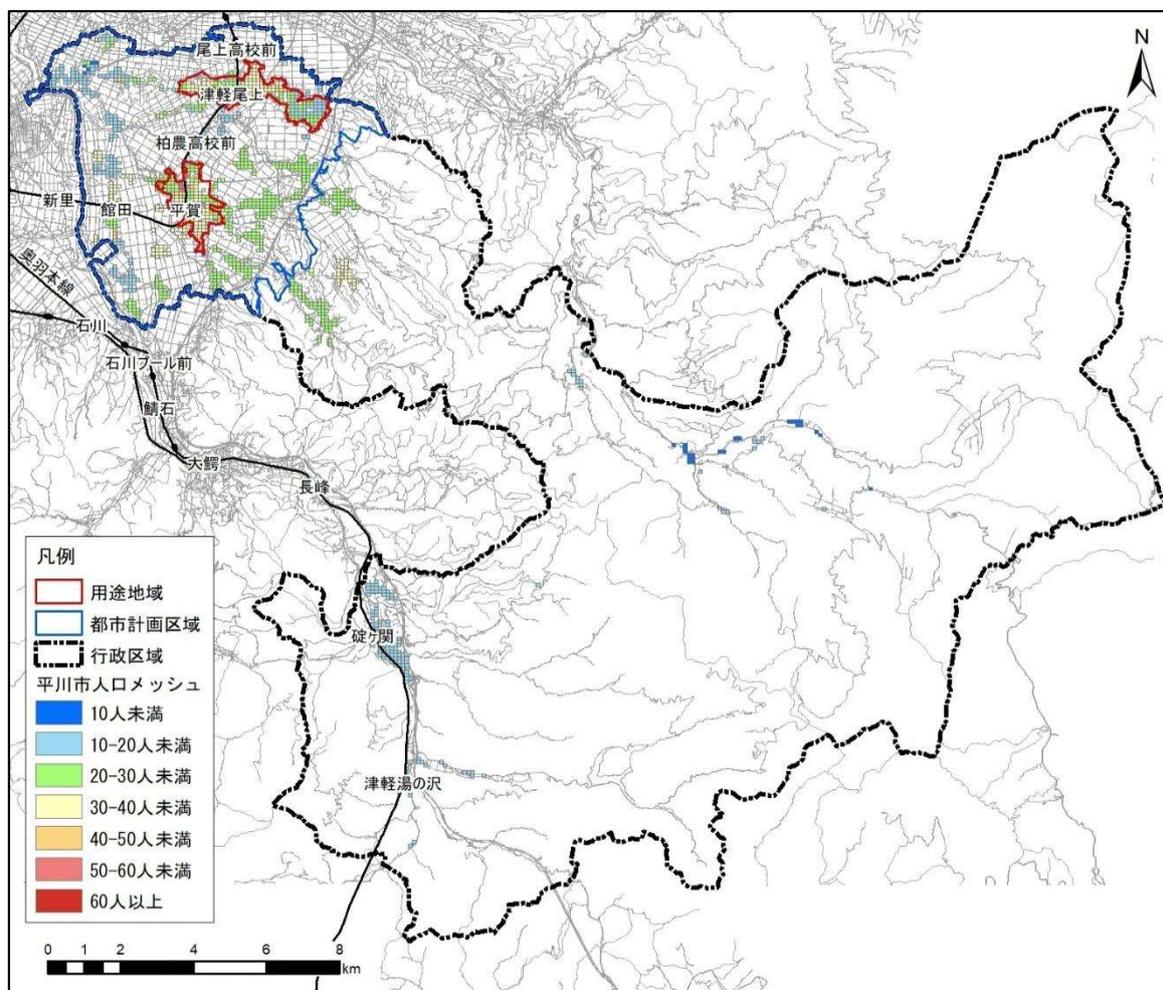
## 1 2.2 現状分析

市街化調整区域、都市計画区域外の地域生活拠点について検討するため、以下の項目について整理します。

### 1 2.2.1 人口密度

人口密度の状況を見ると、市街化調整区域、都市計画区域外において、10～20人/ha未満、20人～30人/ha未満、30～40人/ha未満のエリアが集積している箇所がみられます。

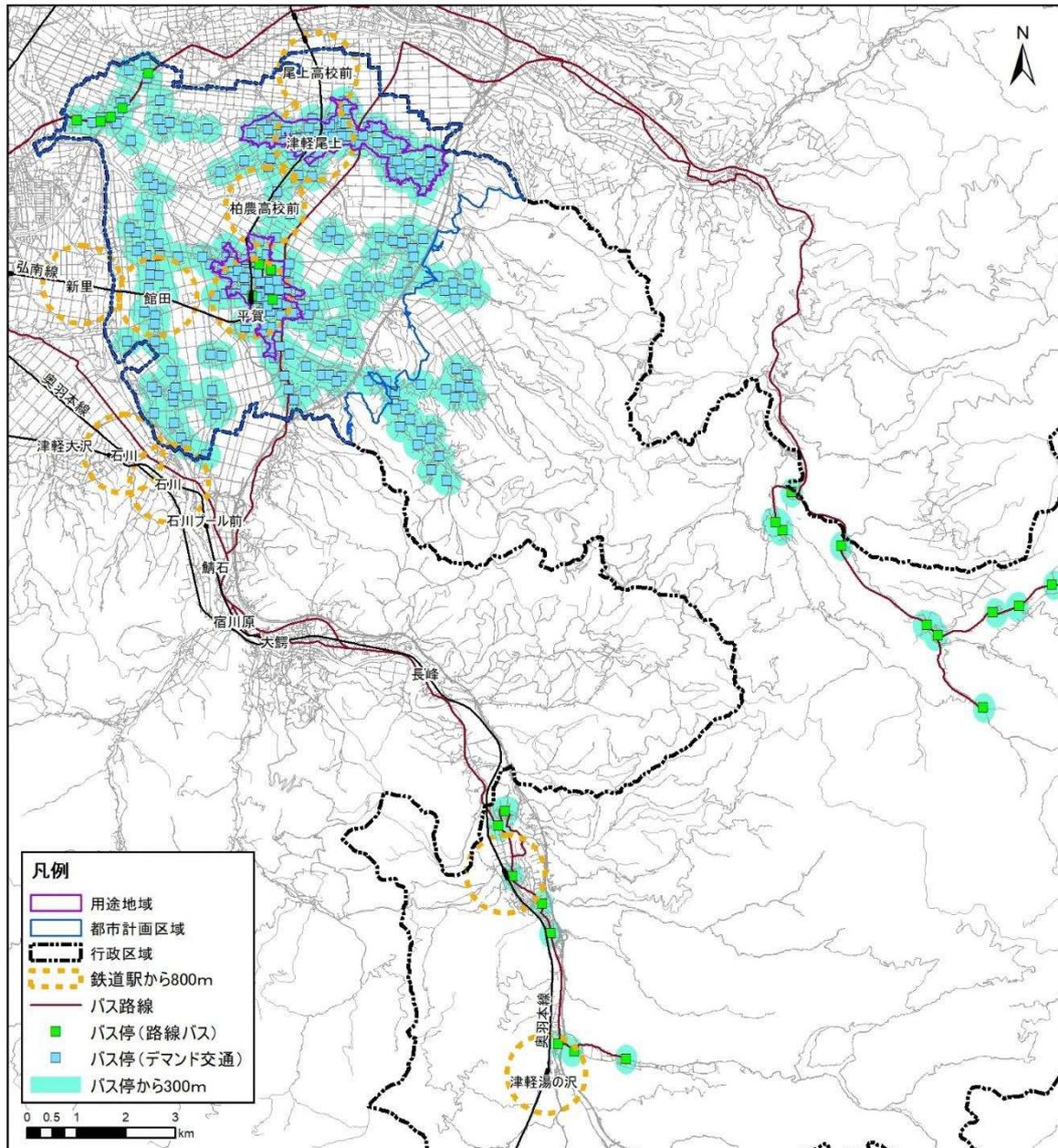
図1 2.2.1 人口密度の状況



## 1 2.2.2 公共交通

デマンド交通のバス停(停留所)は市街化調整区域に広く分布しており、都市計画区域外の一部にも分布しています。

図1 2.2.2 公共交通の状況

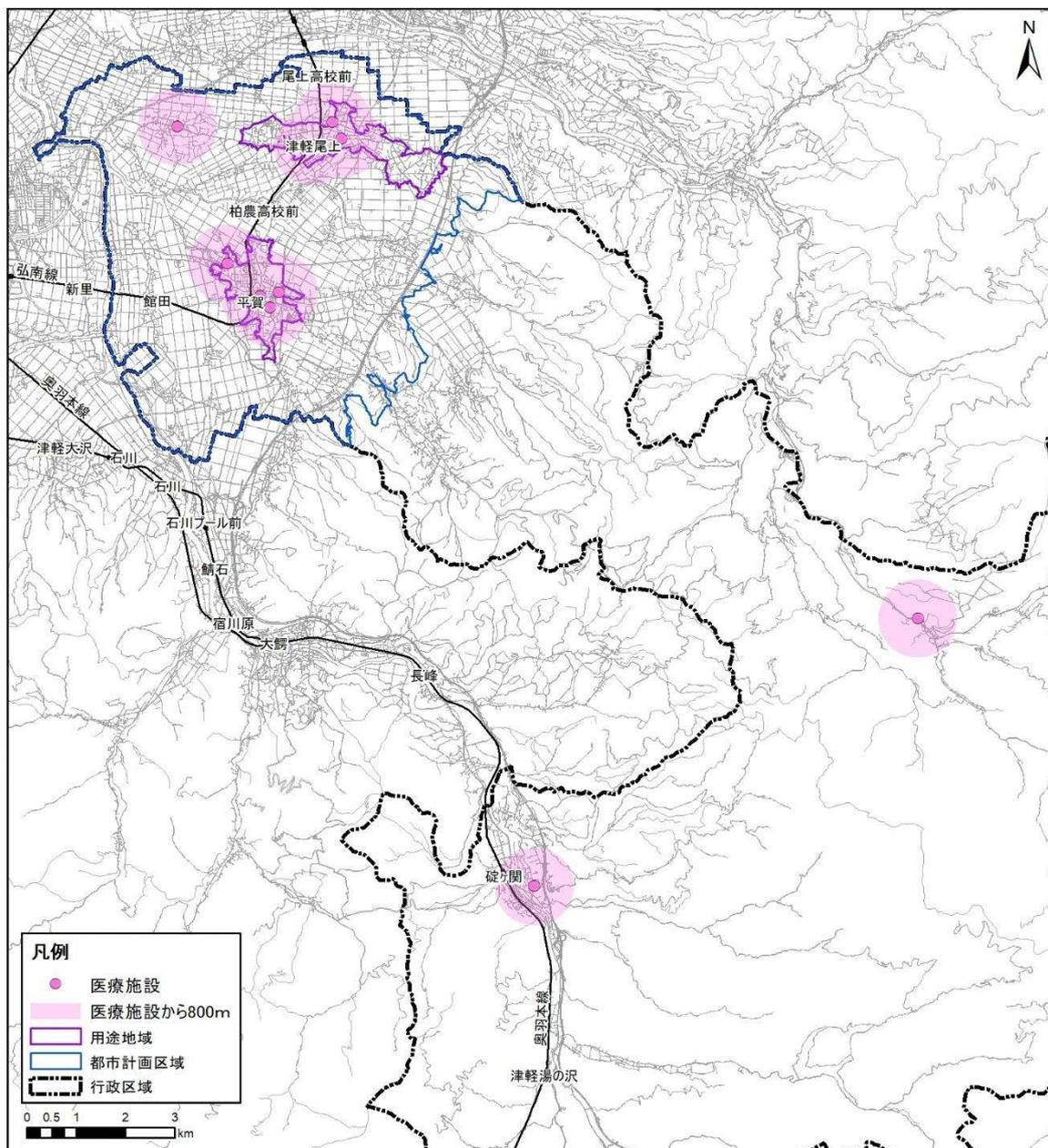


### 1 2.2.3 都市機能

#### ① 医療施設

医療施設は、市街化調整区域、都市計画区域外に数件立地しています。

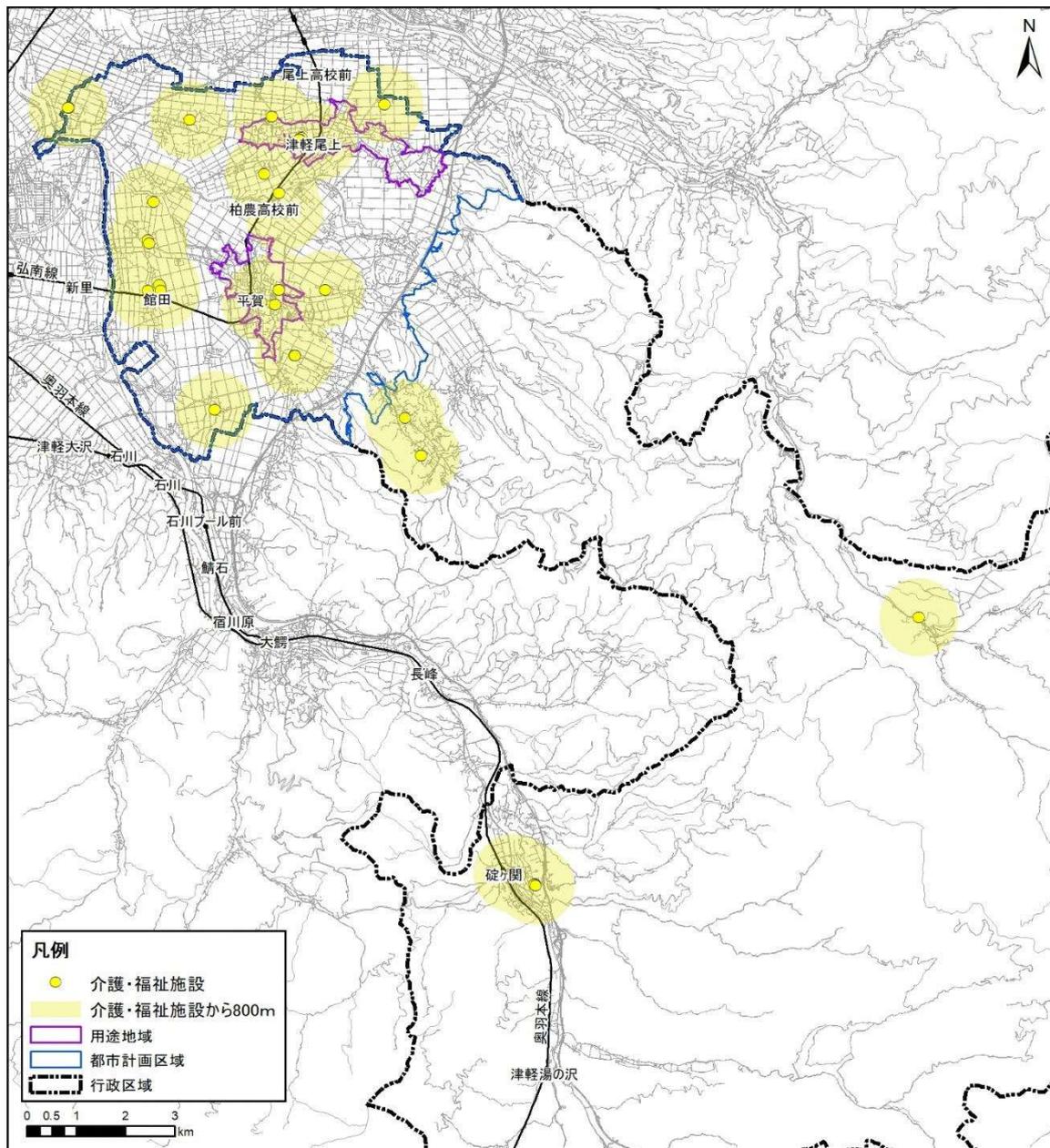
図1 2.2.3 医療施設の状況



② 介護・福祉施設

介護・福祉施設は、市街化調整区域に分布しており、都市計画区域外の一部にも分布しています。

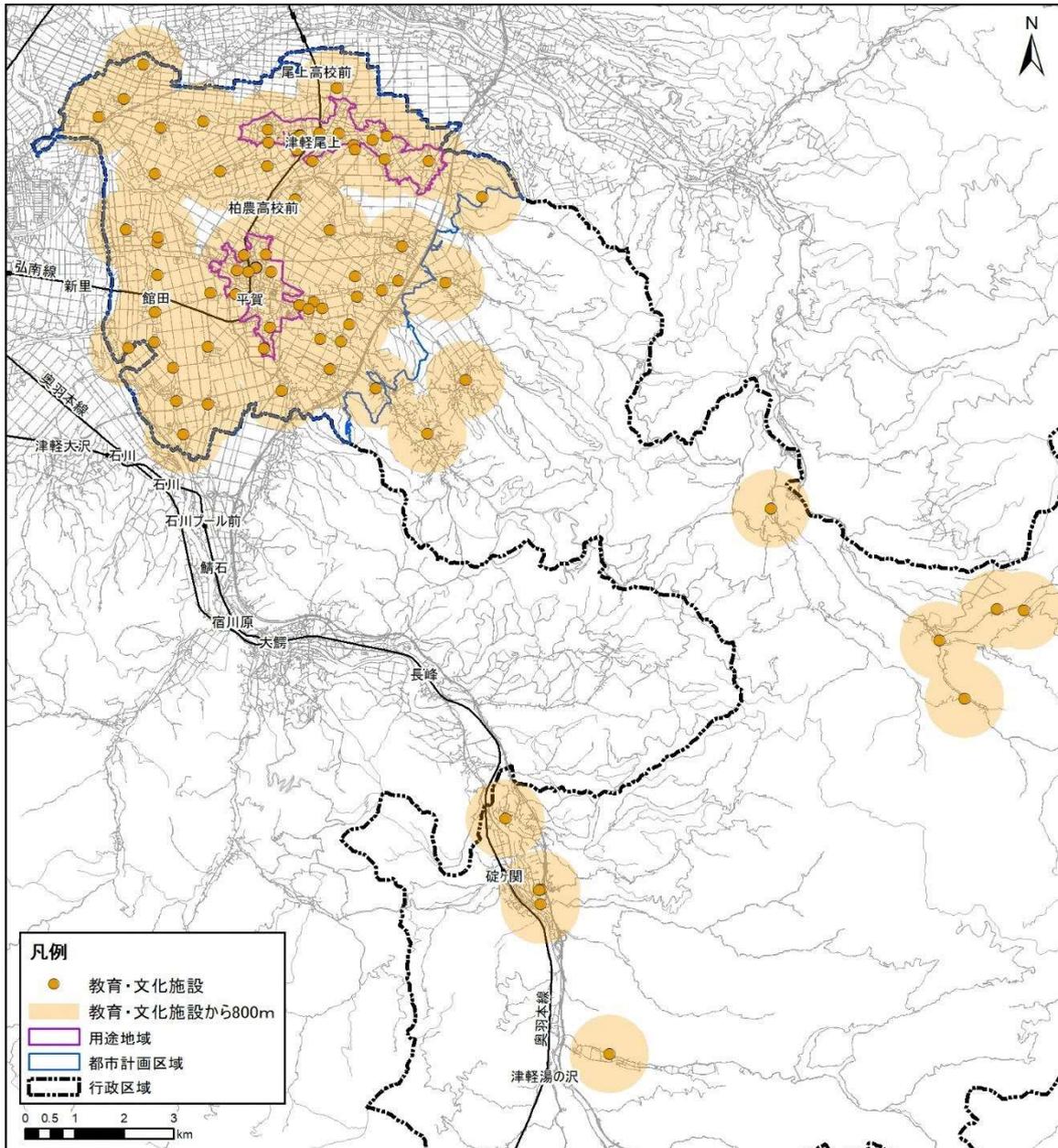
図1 2. 2. 4 介護・福祉施設の状況



### ③ 教育・文化施設

教育・文化施設は、市街化調整区域に広く分布しており、都市計画区域外の一部にも分布しています。

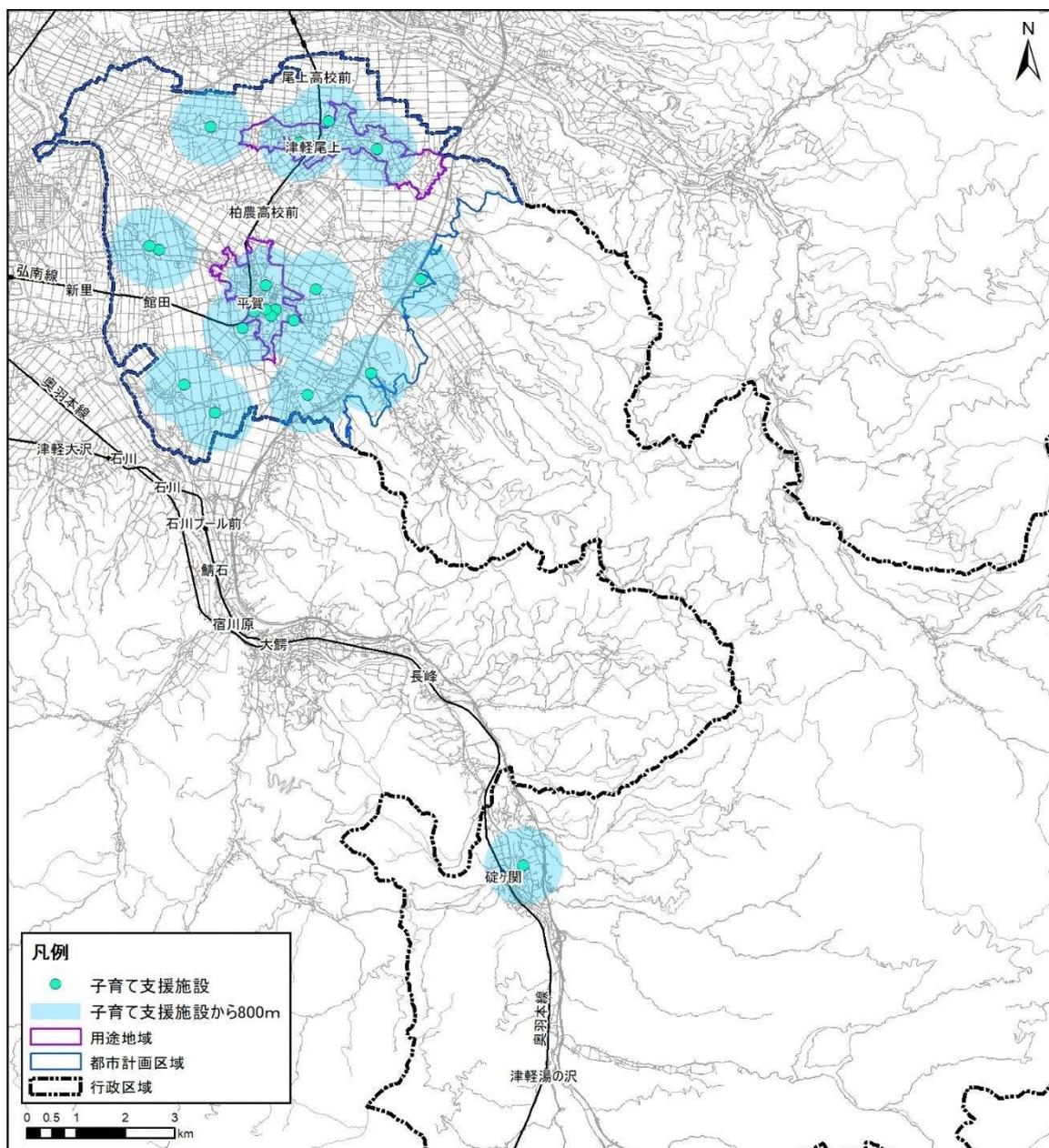
図1 2. 2. 5 教育・文化施設の状況



#### ④ 子育て支援施設

子育て支援施設は、市街化調整区域に分布しており、都市計画区域外の一部にも分布しています。

図1 2. 2. 6 子育て支援施設の状況



## 1 2.3 地域生活拠点の範囲検討

### 1 2.3.1 メッシュデータの重みづけによる地域生活拠点の範囲の検討

地域生活拠点の範囲を検討するため、人口、公共交通、都市機能施設の測地的なデータを用いて評価し、候補となるエリアの抽出を行います。

#### ① 各種データの重みづけの設定

人口は人口密度(令和2年)のメッシュデータにより、それぞれの重みづけ(点数化)は以下のとおり設定します。

公共交通については、鉄道駅、バス停の利用圏域に該当するメッシュを点数化し、重みづけします。

都市機能施設については、医療施設、介護・福祉施設、教育・文化施設、子育て支援施設と想定し、これら施設が立地する 800m圏域に該当するメッシュを点数化し、重みづけします。

表1 2.3.1 重みづけの設定

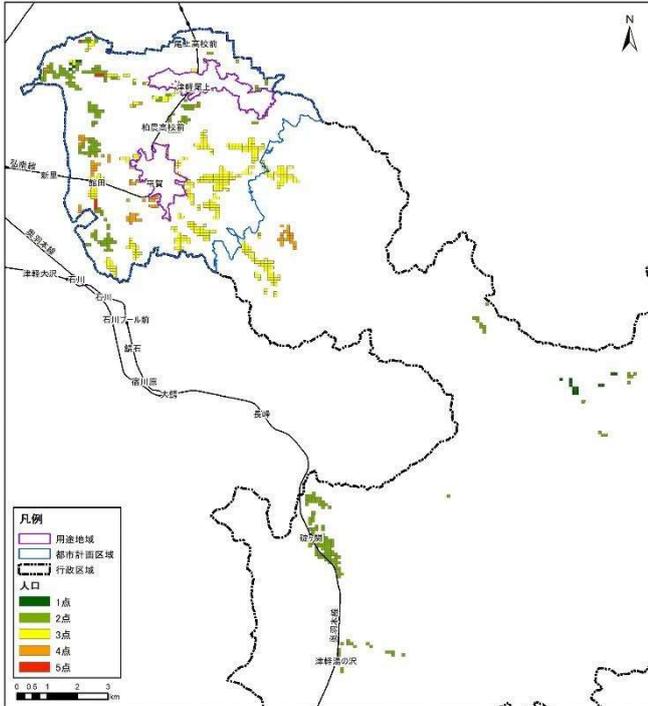
	項目	重みづけ(点数化)	考え方
人口	①人口密度 (令和2年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10人/ha 未満：1点</li> <li>・ 10～20人/ha 未満：2点</li> <li>・ 20～30人/ha 未満：3点</li> <li>・ 30～40人/ha 未満：4点</li> <li>・ 40人/ha 以上：5点</li> </ul>	・人口密度維持の視点から、現状の人口密度の高い順に点数を付与する。
公共交通	②鉄道	・駅から 800m圏域：1点	・コンパクト・プラス・ネットワークの視点から、公共交通の利便性が高い地域に点数を付与する。
	③バス	・バス停から 300m圏域：1点	
都市機能施設	④医療施設	・医療施設から 800m圏域：1点	・地域での日常生活において、都市機能施設の利便性の高い地域に点数を付与する。
	⑤介護・福祉施設	・介護・福祉施設から 800m圏域：1点	
	⑥教育・文化施設	・教育・文化施設から 800m圏域：1点	
	⑦子育て支援施設	・子育て支援施設から 800m圏域：1点	

## ② 重みづけの結果

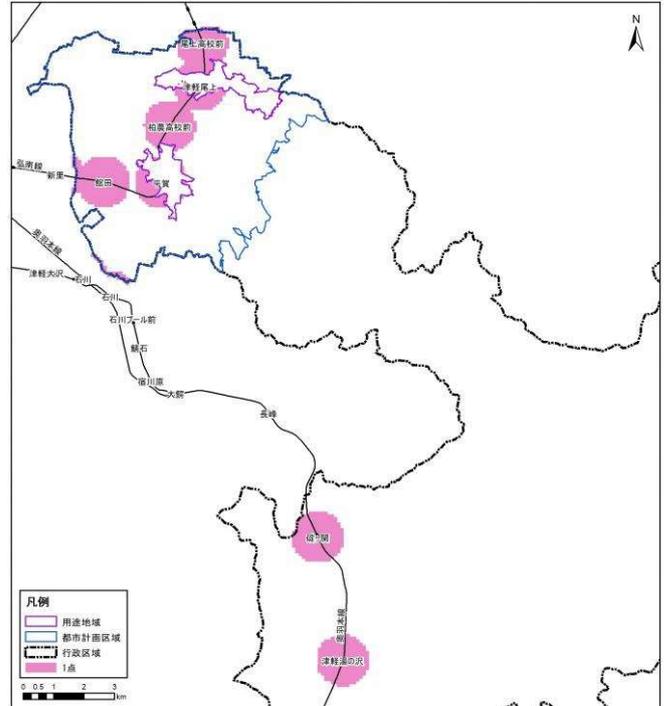
各項目の重みづけの(点数化)結果は以下のとおりです。

図1 2. 3. 1 各項目の重みづけの結果

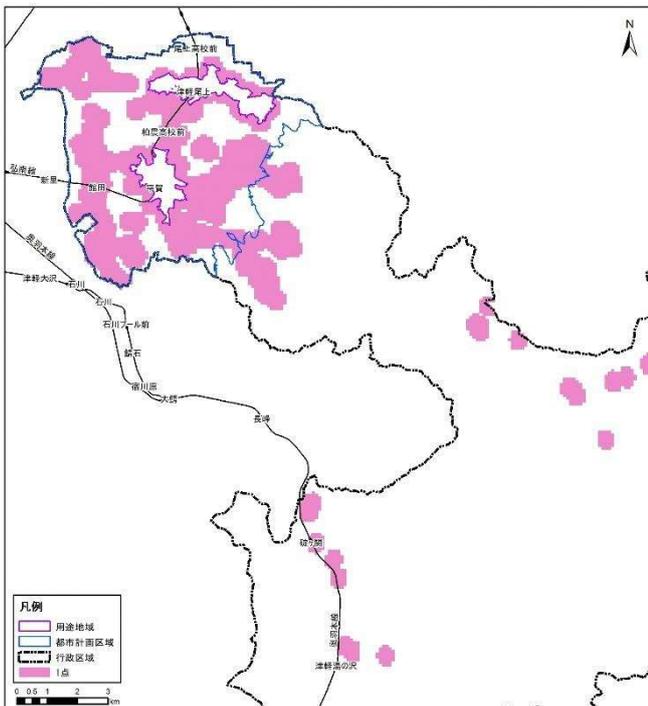
①人口密度



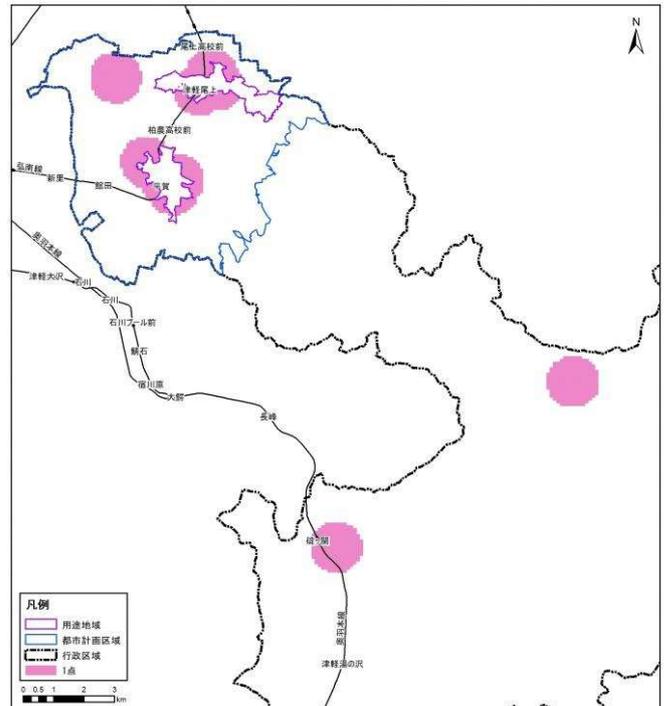
②鉄道



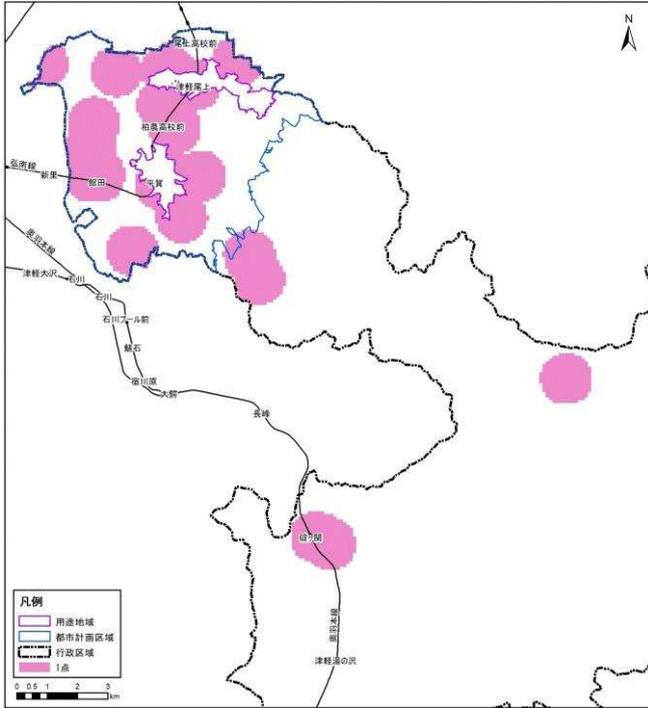
③バス(デマンド交通含む)



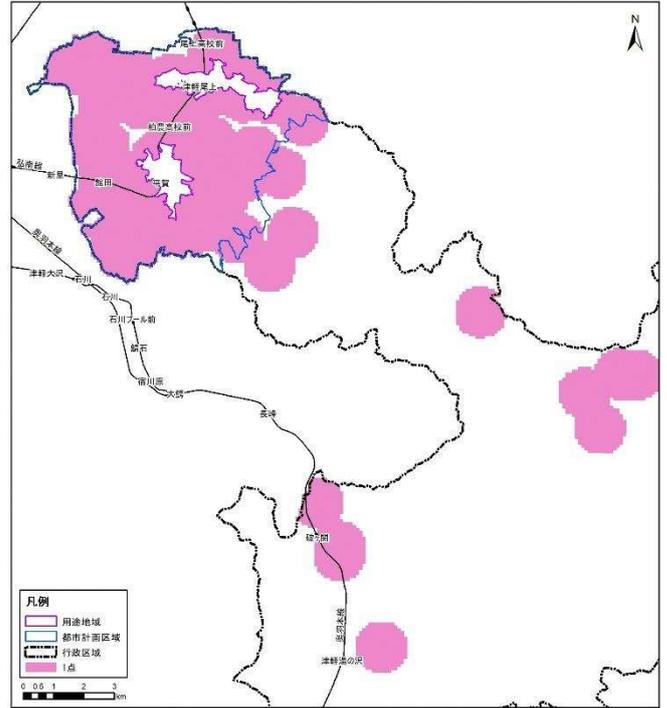
④医療施設



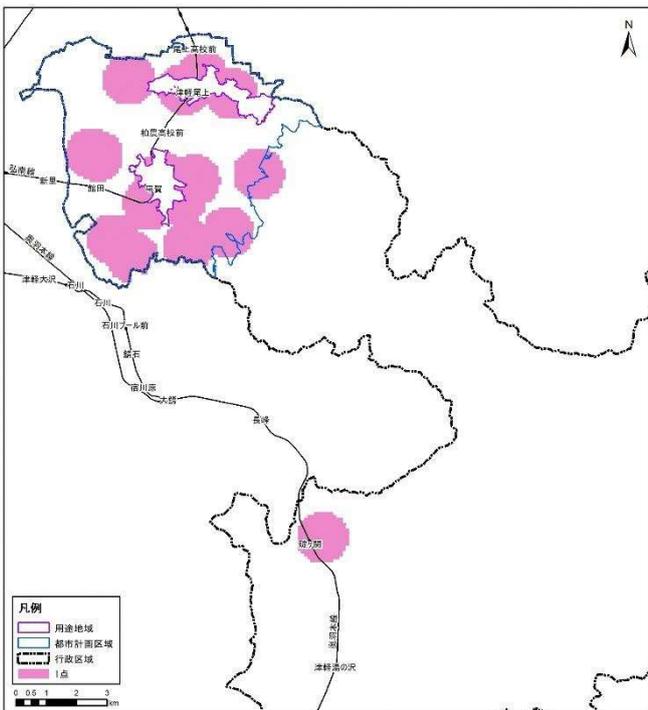
⑤介護・福祉施設



⑥教育・文化施設



⑦子育て支援施設



各項目の重みづけの合計点数の結果は以下のとおりです。

図12.3.2 ⑧合計点数

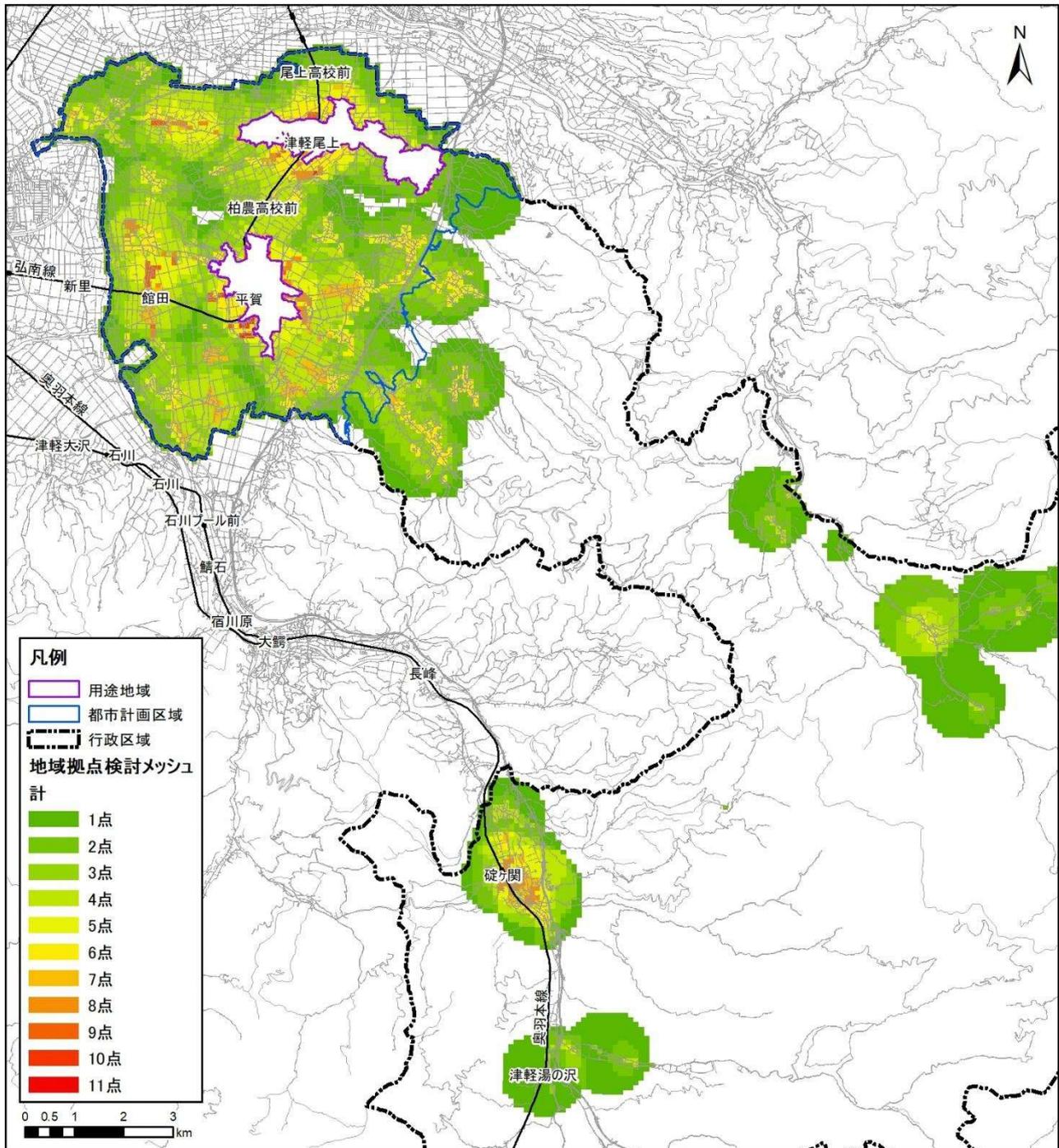


図12.3.3 ⑧合計点数(平賀・尾上地域周辺)

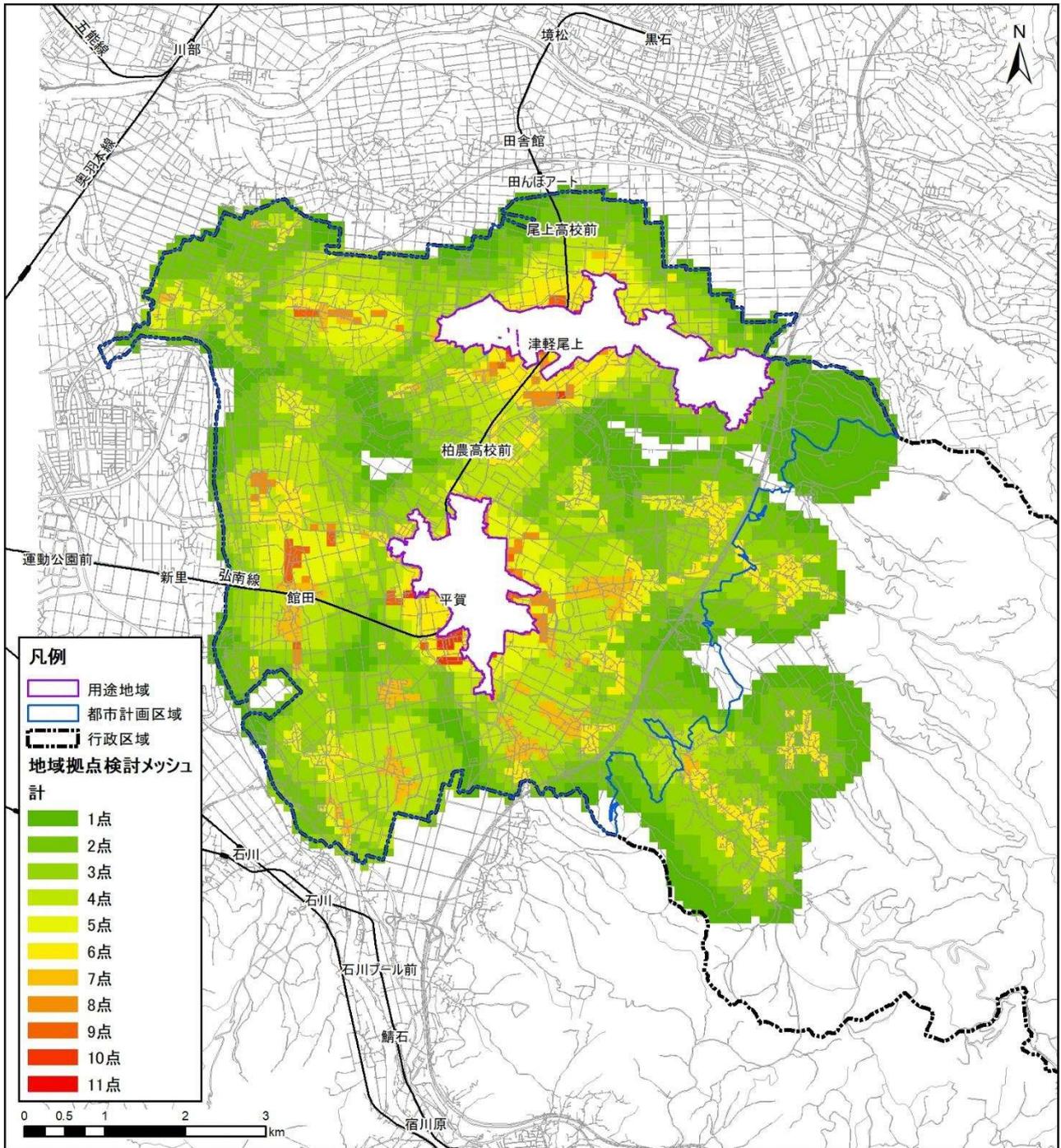
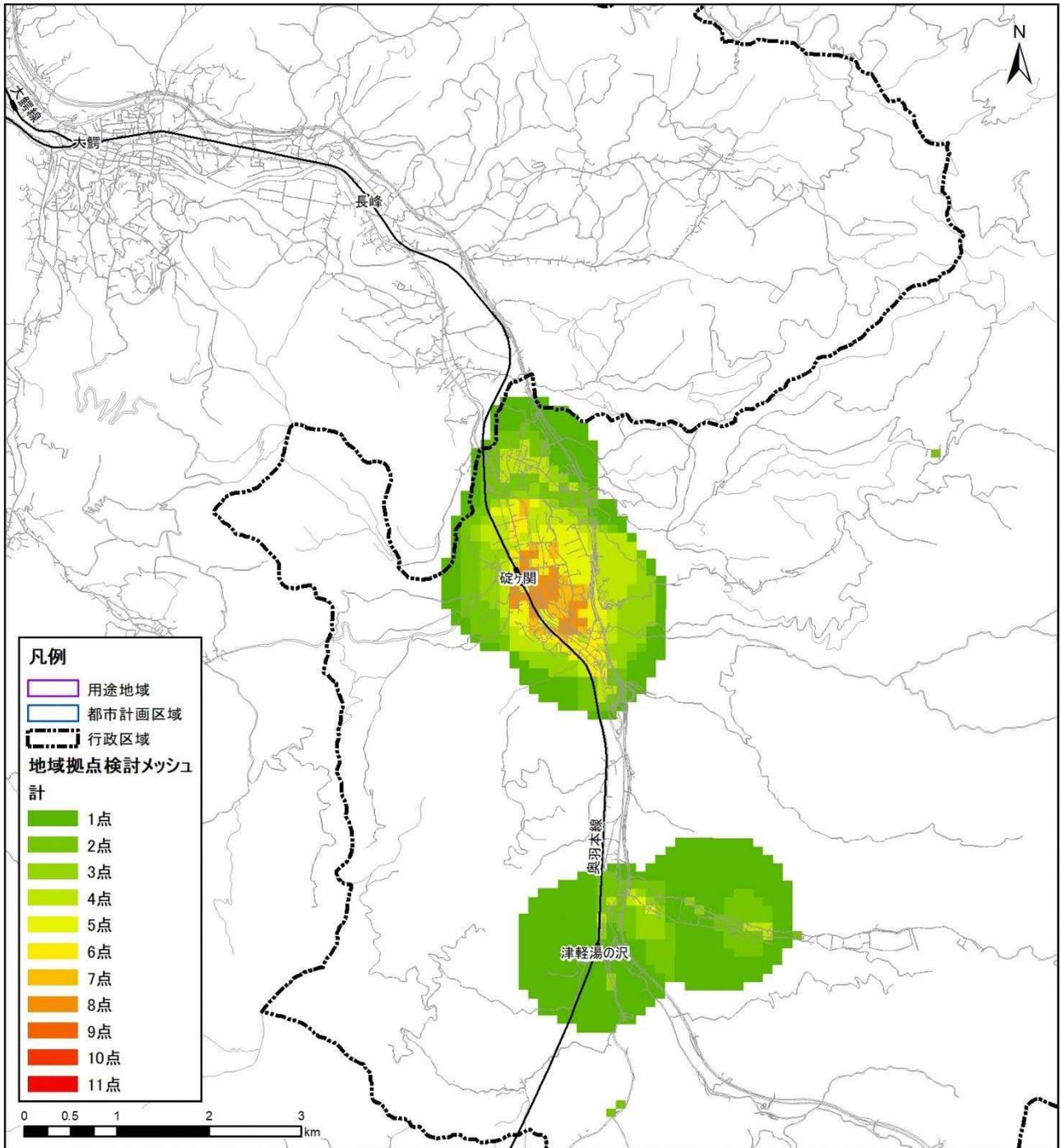


図1 2.3.4 ⑧合計点数(碓ヶ関地域周辺)



### ③ 地域生活拠点の範囲の抽出

各種データの重みづけの合計点数の結果を用いて、地域生活拠点の候補となる範囲を抽出します。

ここでは、比較的まとまった区域がみられる合計点数 7 点以上の結果と、災害ハザード(洪水浸水想定区域、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン))の状況を勘案しながら、地域生活拠点の候補となる範囲を抽出します。

図1 2. 3. 5 合計点数7点以上のエリア(平賀・尾上地域周辺)

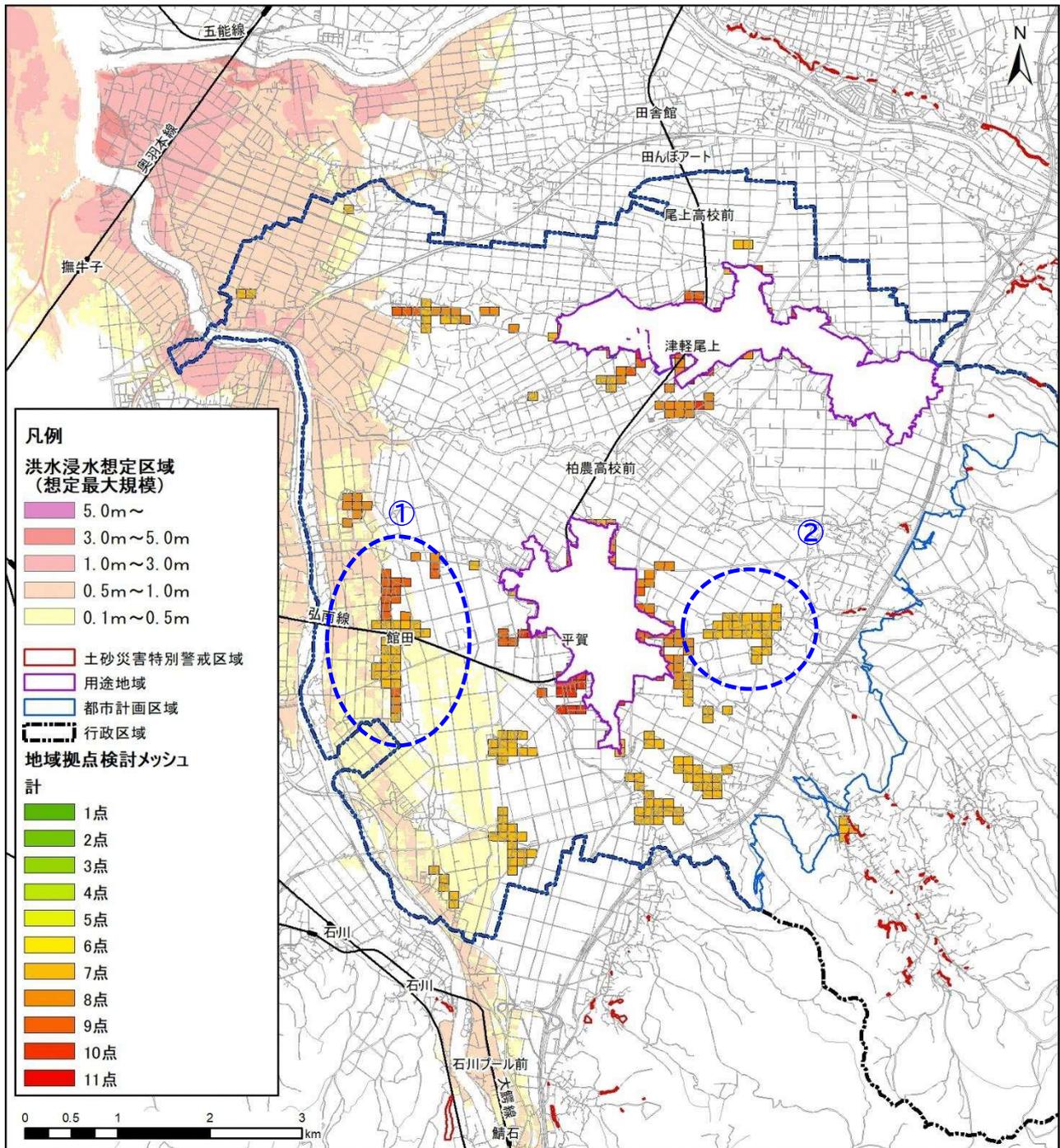
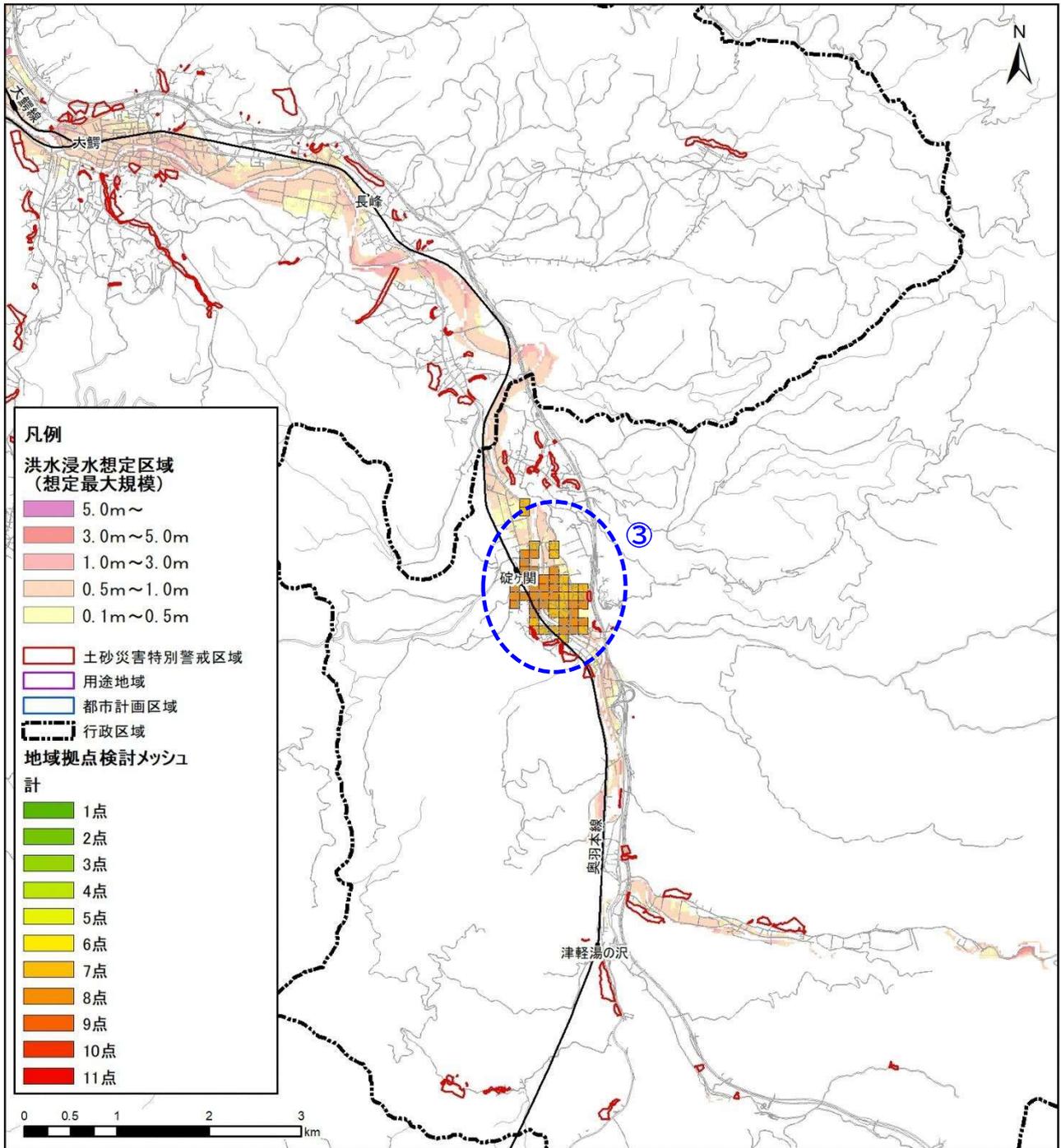
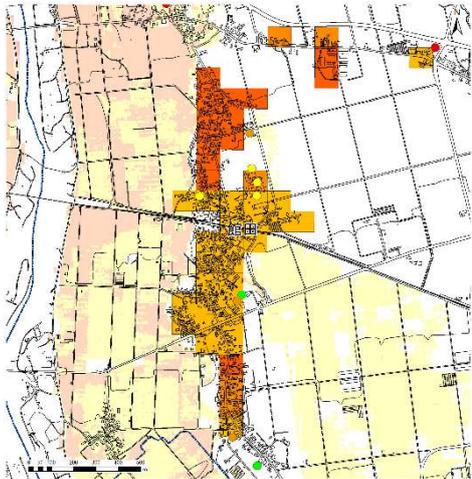
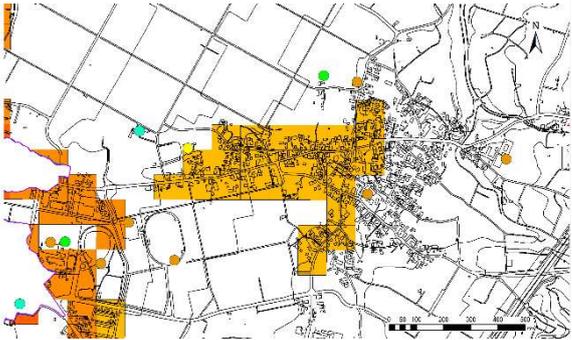
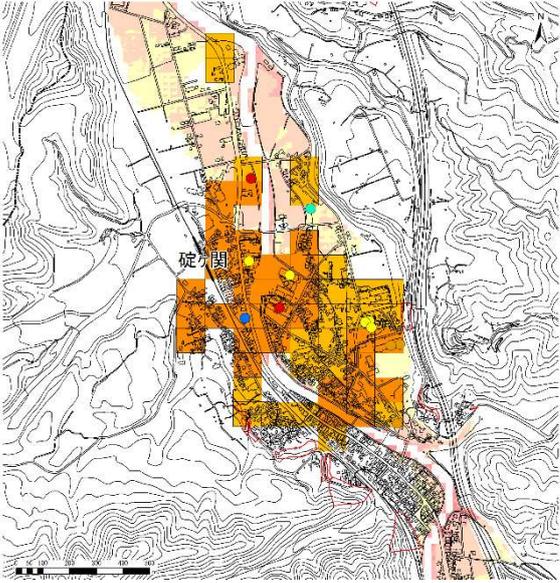


図1 2.3.6 合計点数7点以上のエリア(碓ヶ関地域周辺)



抽出された地域生活拠点の候補範囲の概況は以下のとおりです。

表 1 2 . 3 . 2 地域生活拠点の候補範囲の概況

No	地域の概況等	位置図
①	<p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館田駅周辺</li> <li>・市街化調整区域(地域生活拠点の指定は不可)</li> </ul> <p>【主な施設の立地状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館田駅</li> <li>・介護老人保健施設三笠ケアセンター</li> <li>・館田地区農業推進拠点施設</li> </ul> <p>【災害ハザードの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水浸水想定区域 0.5~1.0mに一部該当</li> </ul>	
②	<p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町居地区周辺</li> <li>・市街化調整区域(地域生活拠点の指定は不可)</li> </ul> <p>【主な施設の立地状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平賀東小学校</li> <li>・平賀東中学校</li> <li>・平賀地区農村交流活性化施設(飛鳥会館)</li> <li>・町居集会所</li> </ul> <p>【災害ハザードの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> </ul>	
③	<p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・碓ヶ関駅から碓ヶ関総合支所周辺</li> </ul> <p>【主な施設の立地状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・碓ヶ関駅</li> <li>・碓ヶ関総合支所</li> <li>・道の駅いかりがせき</li> <li>・碓ヶ関地域福祉センター</li> <li>・碓ヶ関小学校</li> <li>・碓ヶ関中学校</li> <li>・碓ヶ関診療所</li> </ul> <p>【災害ハザードの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害特別警戒区域に一部該当</li> <li>・洪水浸水想定区域 1.0~3.0mに一部該当</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平川市都市計画マスタープランの「都市型居住エリア」に位置づけ</li> </ul>	

抽出された候補地①館田駅周辺、②町居地区周辺については、市街化調整区域であるため、地域生活拠点の設定は行わず、候補地③碓ヶ関駅から碓ヶ関総合支所周辺に地域生活拠点を設定します。

図12.3.7 地域生活拠点の設定(碓ヶ関地域周辺)

